学校番号	3036

令和５年度　芸術科（書道）

教科	書道	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（２）書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性をたかめ、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技術を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写から書道へ	・国語科書写と芸術科書道の相違点について ・用具・用材(文房四宝) ・姿勢・執筆法	a:書写と書道の類似点・相違点を理解している。 a:用具・用材の特徴を理解している。 a:基本の姿勢、執筆法、後片付けについて身に付けている。	観察		
	漢字の書	・筆の機能(弾力)を使って運筆練習 ・筆の弾力を使って漢字一文字作品制作 ・漢字一文字作品表具	a:筆の機能を理解し、基本的な用筆方法を身に付けている。 b:書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、筆圧や呼吸の長さによる表現の違いを工夫している。 c:筆の機能に関心を持ち、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品 観察	作品	作品 振り返りシート
	篆刻	・書体の変遷 ・印の用途や表現効果 ・篆書の特徴 ・6 分印に漢字一文字の姓名印・朱文印の制作	a:漢字の書体の変遷、印の用途や表現効果・篆書の特徴、篆刻の政策手順について理解を深めている。 a:隷書の線質、字形等の要素と表現効果、用筆法などの技能を身に付けている。 a:印刀の持ち方使い方を理解し、作品を効果的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:篆書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて印面構成をし、印稿を工夫している。 c:篆刻の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品 観察	作品	作品 振り返りシート

	漢字仮名交じりの書(硬筆)	・楷書と楷書に合う平仮名による作品制作 (夏季休業中の課題)	a: 日常生活の硬筆の書の効用について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 b:字形、文字の大きさ、全体の構成について、自らの構想に基づき漢字と仮名が調和するように工夫している。 c: 国語科書写の基礎的な能力の向上に努め、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品	作品
	漢字の書	・古典「蘭亭序」の鑑賞 ・「蘭亭序」の「天朗気清」の臨書	a:「蘭亭序」の基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現など、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:「蘭亭序」の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:「蘭亭序」の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 作品	作品 実技テスト	作品 振り返りシート
後期	漢字の書	・古典臨書作品の制作 ・各々に書きたい古典を選び、半紙 4 文字の臨書作品制作。 (半紙コンクール出品作品)	a:様々な古典の美とその表現効果について理解している。 a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形や構成を生かした表現など、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:それぞれの古典の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:様々な古典の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 作品	作品	作品 振り返りシート

	漢字の書	・「蘭亭序」の美の要素を生かし漢字 2～3 字創作作品の制作 ・相互批評	a:「蘭亭序」の書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。 a:作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。 b:「蘭亭序」のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 c: 文字の選定から完成に至る創造的活動に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	文字資料 プリント 作品	作品 制作プリント	相互批評 プリント 振り返りシート
	仮名の書	・仮名の基本的な姿勢・執筆 ・基本的な用筆・運筆 ・古筆「高野切第三種」の連綿臨書	a:古筆に基づく基本的な用筆・運筆や線質、連綿を使った表現などの技能を身に付けている。 b:連綿による流動美を感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 C:日本の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品 ワークシート	作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度